

会議顛末書

記録者 徳安 柚花

	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	主係	査長	グループ員
供覧	/	/	/					

件名 令和7年度第2回龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議

年月日 令和8年1月28日(水)

時間 午後1時30分～2時50分

場所 龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室

出席者	<p>【委員】 飯塚委員長、高橋委員、中山委員、佐子川委員、伊東委員、福岡委員、石塚委員、下田委員、中村委員、長谷川委員</p> <p>【図書館指定管理者】 湯田館長</p> <p>【龍ヶ崎市】 〈文化・生涯学習課〉松崎課長、清水補佐、由利会計年度職員、記録者 〈教育総務課〉寺田補佐 〈指導課〉山中補佐 〈こども家庭課〉木村補佐、高倉主査</p>	傍聴人数	0人
-----	--	------	----

事務局 (記録者)	<p>1 開会 会議の成立(10名の委員のうち10名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第6条第2項に規定している委員定数の過半数以上の出席)</p>
松崎課長	2 あいさつ
事務局 (記録者)	(委員の紹介) (事務局、担当課等の紹介)
	3 議事 ※条例第5条第2項により、飯塚委員長が会議の議長を務める。 (議事録署名人として福岡委員を指名。各委員異議なし)
議長	それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和8年度取組計画案」について、担当各課等より説明をお願いします。
担当各課等	(資料に基づき説明)

議 長	<p>担当各課からの説明が終了しましたので、質疑に入ります。ご質問やご発言のある委員は挙手をお願いいたします。</p> <p>図書館にお伺いしますが、指定管理者として運営を始めてから一年が経ちましたが、いかがでしたか。</p>
湯田館長	<p>日常の図書館運営に加えて、新規事業として今年の1月から新たな電子図書館サービスと移動図書館の定期巡回を始めました。特に移動図書館車は、色々な場所へ巡回していきますのでぜひ注目していただきたいです。</p>
議 長	<p>そういった1年間の取り組みを経た上で作成した令和8年度の計画の中に、特に力を入れたい事業や注目すべきポイントはありますか。</p>
湯田館長	<p>先ほどの新規事業2点は、来年度以降も力を入れていきたい事業です。</p> <p>新しい電子図書館サービスに移行したことで、こども向けの「読み放題パック」というコンテンツがご利用いただけるようになります。こちらは今年の2月1日から利用可能になりますので、利用実態をしっかりと確認してまいります。もう1つは移動図書館の定期巡回ですが、こどもの読書に関連するところでは学童や保育所などを巡回していますので、そういった施設での需要をしっかりと確認しながら進めていきたいと思っています。</p>
事務局 (清水補佐)	<p>補足です。今年度から図書館の指定管理者として新たに(株)図書館流通センターに図書館の運営をしていただいています。</p> <p>新たな電子図書館は学校連携を図り、小学校高学年から高校生を対象に、学校で電子図書を読めるよう取り組んでいます。さらに、移動図書館車は「たつのこぶっくるん」という愛称で活動しており、大変好評です。これからも巡回先を拡大していく予定ですので、現在は公立保育所を巡回していますが、今後は私立も視野に検討します。</p> <p>また、先ほど館長からご説明があった新規事業に加えて、新たに中央図書館内にカップ式自動販売機を設置し、飲み物を飲みながらリラックスして本が読める環境を整えました。</p>
議 長	<p>今いただいたご説明も踏まえて、あと2ヶ月で令和8年度が始まりますので、ぜひ今日出席されている委員の皆さんそれぞれの立場から、この計画案に対してお考えをお聞かせいただければと思います。また、追加の要望や感想でもいません。</p>
佐子川委員	<p>3点お願いします。まず、2頁「市立図書館の蔵書内容の充実」について、第四次計画にはLLブックや布の絵本、さわる絵本等の購入を進めるとありますが、来年度の目標には点訳絵本のことしか触れられていません。他の図書についてはどのように計画されていますか。</p> <p>次に、5頁「市立図書館の出前講座の実施」の開催目標は3回とあります</p>

が、前回7月の会議では学童保育ルームへの出前講座が夏季休業期間に集中し、希望のとおり実施しきれないというお話もありました。この開催数はあくまで3回なのか可能な限り増やすことができるのかお伺いしたいです。

また、今年度に長山コミュニティセンター図書室の一部が「ここくれば」というこどもの遊び場になりました。もちろんそれも必要ですが、コミュニティセンターに勤務していた経験からいうと、長山地区の図書室は非常に利用が多く、高齢者にとってもありがたいものです。改装されたことで蔵書がかなり減少し、放課後や土日には子供がいるため図書室の利用が難しくなっており、実際に職員の方に聞いてみても、利用しづらくなったとの意見があるようです。さらに、図書室内でお菓子を食べても良いということで、いくら職員が様子を見ているとはいえ非常に気になっています。会議の趣旨からは少し外れるかもしれませんが、今後、市と図書館としてどういった計画でコミュニティセンター図書室を運営していくのかお伺いしたいと思えます。

湯田館長

まず一つ目、LLブックなどは、秋の読書週間の展示で活用したいと考えているため、購入の検討はしております。また、展示絵本についても6冊と言わず良い本があればさらに買い足すことも考えております。

出前講座については、もちろん可能な限り対応したいと思っておりますので、3回に限らず、要望があればできるだけ出向くようにいたします。

事務局
(清水補佐)

確かに長山地区の図書室の利用は多いですが、こどもたちの居場所づくりも課題でありましたので、図書室とこどもの居場所との両立のため改装しました。

また、コミュニティセンター図書室の運用は市民の要望にお応えする形で行います。そのため、一部コミュニティセンターでは地域の方々からの要望で、図書室を廃止しており、他の図書室についても地域のまちづくり協議会と相談の上対応していきます。

こども家庭
センター
(木村補佐)

「ここくれば」についてご説明します。こちらは今年度の7月から新たに開始された事業で、当初は飲食厳禁でしたが、夏休み中、昼食を摂るためだけに暑い中帰宅させるべきではないという意見があり、図書室ではない別室で軽食を持参して食べることを許可しています。

平日の利用可能時間は1時間半なので、静かに本を読みたい方にはそれ以外の時間帯の利用を促しています。図書室の共有についていただいたご意見については、きめ細やかかつ柔軟に対応してまいります。

佐子川委員

分かりました。ただ、図書室のテーブルには「図書室内で飲食するように」という掲示があるので、実際には図書室内で食べさせているはずですが。

議 長

佐子川委員の最初の質問について、LLブックなどの購入を検討しているというお話でしたので、来年度の計画にその旨を加えていただければいいので

	はないかと思いました。可能でしたら、お願いいたします。
湯田館長	はい。
議 長	他の方はいかがでしょうか。伊東委員。
伊東委員	<p>まず、団体貸出の要望ですが、申請時・本の引取り時・返却時と、3度も中央図書館に行く必要があります。申請はFAXなどで受け付けていただき、来館しなくて済むようになると、団体貸出数も伸びると思います。</p> <p>2つ目は移動図書館車についてです。運用体制が整った後でもいいので、民間の園にもぜひ巡回していただきたいと思います。</p> <p>最後に、夏休みに中央図書館でたくさんイベントを行っていると思いますが、その時期には小中学生がスーパーマーケットやドラッグストアのフリースペースでお菓子を食べながらゲームをしているのをよく見かけます。そういった場所で図書館のイベントを行うのもいいのではないかと思います。</p>
議 長	ありがとうございます。とても良いアイデアですが、いかがでしょうか。
湯田館長	ご意見ありがとうございます。まず1つ目の団体貸出に関してお手間をおかけしてしまうという点ですが、ご希望に沿えるように検討してみます。
伊東委員	中央図書館への来館が日々の業務の中で負担となっています。FAXで対応していただければ、お互い業務を簡素化できると考えています。
湯田館長	夏休みのイベントについては、図書館が外に出向いてイベントを開催するということでしょうか。
伊東委員	スーパーマーケットのフリースペースなどが、夏休みや放課後のこどもたちの居場所になっていると思いますので、そういった場所を有効活用できれば、本を身近に感じてもらえるのではないかと考えています。
湯田館長	今、移動図書館車は商業施設にも巡回していますので、そうした場所の活用についても検討してみたいと思います。
事務局 (清水補佐)	2番目のご要望について、移動図書館車は現在八原保育所に巡回しており、こどもたちと保護者がお話ししながら絵本を選んでいく様子は、私もとても良い光景だと感じています。当初から私立の施設にも回りたいと考えていましたが、まずはこどもから高齢者まで様々な層をカバーするために公立の保育所に巡回している状況です。今後の巡回ルートは見直ししていきますので、検討させていただきます。
伊東委員	よろしく申し上げます。

議 長	はい。他にどうでしょうか。どうぞ、石塚委員。
石塚委員	2頁「市立図書館の電子図書館の充実」に中高生向けの事業が挙げられていますが、現在どの世代の利用が多いのですか。
湯田館長	新しい電子図書館は今年の1月5日から始まったところで、まだきちんと統計が取れていませんが、50歳前後の方々の利用が最も多いです。現在は市内の小中学校に児童生徒用の電子図書館IDを配布し終え、学校側で準備を進めている段階で、「読み放題パック」が利用できるようになるのは2月1日からなので、中高生の利用に大きな動きはまだ見られていません。
石塚委員	本校は私立ですが、ぜひ電子図書館の学校連携に参加させていただければありがたいです。ご検討ください。
事務局 (清水補佐)	すでに竜ヶ崎一高や附属中と導入について協議しており、他の市内高校にもぜひ導入させていただければと考えています。ありがとうございます。
議 長	他の委員の皆さんはいかがでしょう。 学校の状況はいかがですか。
高橋委員	本校の中学生は、朝読の時間以外にも隙間時間に読書する生徒が多く、読書が嫌いではないようです。それでも、時間確保が非常に難しいというのが現状です。勉強や部活、塾、習い事、そしてスマートフォンに時間を取られてしまっています。 読書タイムやイベントなど取り組んでいますが、学力向上のために朝読の時間を学習時間に充てざるを得ない場面もあるので、それを本校の今後の課題としてカリキュラムの見直しを行っています。 電子図書館の学校連携について、IDが配布されるお知らせは読んだ記憶があります。生徒にどのように周知し、利用につなげていくかが課題なので、市立図書館や学校の司書や職員と連携できればと思っています。
中村委員	小学校では毎日朝読の時間をとっています。高学年になると学力向上のために読書時間が削られてしまっていますが、1年生だけでなく上の学年でも授業で図書室に行く時間を作るよう調整しています。 また、図書室以外にも、ラウンジに季節の本のコーナーを設け、子供たちがさまざまな本に触れられるようにしています。ビブリオバトルや季節に合わせたイベントなど、子供たちが本をたくさん読みたいと思えるようなさまざまな仕掛けを用意しています。
議 長	図書館に対して何かご要望はありませんか？

中村委員	うちの学校は中央図書館から遠いので生徒が自分で来館することは困難です。授業として中央図書館に行くことは可能でしょうか。
湯田館長	現在でも小学校2年生の図書館見学を受け入れていますので、ぜひご検討ください。
議 長	図書館としては、各小学校からの要望があれば積極的に受け入れるということですね。他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。福岡委員。
福岡委員	3頁「中央図書館の赤ちゃんタイムの実施」について、私も家庭教育講座を企画する立場にありますので、子育て世代に役立つイベントをどのように企画しているのかお伺いしたいです。 2つ目は、たつのこぶっくるんについて、先ほど保育施設などへの巡回を拡充するとありましたが、幼稚園や学童は既によみきかせなど様々な取り組みが行われていると思います。そうではなく、先ほど伊東園長が言っていたような、教育・保育施設ではなく、読書が直接結びつかない意外な場所なら、親も移動図書館車の利用に巻き込めて良いのではないかと思います。
湯田館長	ご意見ありがとうございます。まず、イベント企画については、今年度は講師に育児コンシェルジュを呼び、親子で絵本を読んだり手遊びをしたり様々な工作をしたりするイベントを行い、平日でしたが定員の10組が集まり、盛況でした。また、消防士をお招きして赤ちゃん向けの緊急救命講座を行いました。こちらは集客が今ひとつでした。来年度に向けては、できるだけ親子で楽しめるイベントを中心に考えていこうと考えています。 たつのこぶっくるんの巡回先については、出発式の日なたつのこ山へ行ったのですが、雨に降られて人が全くいなかったため、今年の3月14日に再度イベントを実施する予定で、さまざまな読書体験を提供できる楽しいイベントにしたいと思っています。ほかにも駅やショッピングセンターを巡回していますが、もし他におすすめの場所があればぜひご教示ください。
福岡委員	私も考えてみます。活動が楽しみです。よろしくお願いします。
議 長	他にいかがでしょうか。
長谷川委員	電子図書館について先ほど龍ヶ崎の高校にIDを配布するとお伺いしましたが、本市以外から通っている中高校生に対しては配布されますか。
湯田館長	市外在住であっても市内の学校に通っていらっしゃる方であれば、電子図書館を使っていただくことは可能です。
長谷川委員	うちの息子も最近は読書時間が取れていませんが、本を読みたいという気持ちはあるようなので、少しでもきっかけづくりになればと思ってお伺いし

	<p>ました。ありがとうございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。どうぞ、中山委員。</p>
中山委員	<p>1月から始まった新規事業について状況を聞きたいと考えていましたが、今までのお話で大体分かりました。</p> <p>ただ、図書館にとっても分かりやすい電子図書館についてのパンフレットがあるので、今日の会議で委員に配布して、しっかりとご説明いただければよかったですのではないかと思います。</p>
湯田館長	<p>次回そういった機会があれば、パンフレットを配布します。</p>
中山委員	<p>あとは、5頁「ブックスタートの実施」について、この健診にいらっしやらない方へはどのように対応していますか。</p>
湯田館長	<p>現在、ブックスタート未参加の方に対して取組はしていません。委員のご意見を聞いて、確かなになにか仕組みがあるとよいと思いました。</p>
中山委員	<p>支援の届きにくい外国出身の子どもたちのためにも、検討していただきたいなと思いました。</p>
こども家庭センター (木村補佐)	<p>補足です。健診の受診率は約98%とかなり高いですが、やはり外国籍の方など未受診となりがちですので、今後図書館と連携を取りながら対応を考えさせていただければと思います。ありがとうございます。</p>
佐子川委員	<p>ただいまブックスタートについてお話がありましたが、この事業は絵本を渡すだけではなく、絵本を通して親子のコミュニケーションを図るためのものです。以前はボランティアも協力して一対一でお話しながら本を選んで読み聞かせをしていましたが、コロナ禍により中止となったままです。龍ヶ崎市としては本来の形に戻す予定はないのでしょうか。</p>
こども家庭センター (木村補佐)	<p>現在はボランティアではなく図書館の職員の方が、赤ちゃんと保護者一組ずつとコミュニケーションをとりながら絵本を選んでもらって、読み聞かせを継続しております。</p>
下田委員	<p>親子向けイベントについて補足ですが、イベントがないときのこぐまちゃんのおはなし会は大抵2組から3組の参加しかありませんが、人気のイベントの時はおはなし会も人気になります。</p> <p>また、3頁「市立図書館における子ども向けイベントの開催」のSPおはなし会の開催数は年3回ではなく年6回が正しいのではないのでしょうか。</p> <p>最後に、たつのこぶっくるんの事業ですが、とても良いと思っています。サプラには既にたつのこ図書館がありますが、利用者が多ければそれだけ図</p>

	<p>書館の知名度も上がるので、多少かぶっていても良い巡回先だと思います。そこで、現状でのたつこの図書館の利用状況をお伺いしたいです。</p>
湯田館長	<p>まず、SP おはなし会のご指摘をありがとうございます。修正します。</p> <p>また、たつこのぶっくるんのサプラ巡回ですが、北竜台分館とは違って移動図書館車は本を借りられたり出入口の通りすがりにあったりすることで、多くの人に見ていただけています。北竜台分館の状況については、イトーヨーカドーが閉店してから来館者が少し減りましたが、今年度に入って新しい店舗が次々とオープンしているため、来館者数は徐々に戻りつつあります。</p>
下田委員	<p>ありがとうございます。現状はよくわかりました。</p>
佐子川委員	<p>3頁「市立図書館におけるおはなし会の開催」の取組計画案をご説明いただく中で、こぐまちゃんのおはなし会が年12回から24回になるというお話がありましたが、これは年22回実施しているおはなし会の半分をこぐまちゃんのおはなし会に振り向けるという形だと思います。</p>
下田委員	<p>去年の図書館ボランティアの意見交換会のときに出た話ですね。</p>
佐子川委員	<p>それと、図書館ボランティア意見交換会でも要望しましたが、この「おはなし会」という名前が一般的過ぎてわかりにくいです。対象年齢がわかる名前に改称していただければありがたいと思います。ボランティアにわかりにくいということは、利用者にもわかりにくいのではないかと考えますので、ご検討いただけると幸いです。</p>
湯田館長	<p>ありがとうございます。引き続き新しい名前がないか検討したいと思います。また、こぐまちゃんのおはなし会は第2火曜日の月1回開催から、第2火曜日と第3土曜日の月2回開催とし、おはなし会の開催数は変わらないという認識でした。あとで確認させていただきます。</p>
下田委員	<p>春にはおはなし会に新しい名前がつくことを期待しています。</p> <p>また、来年度からはおはなし会の対象を明確な年齢別にするという意見もありましたので、検討していただければと思います。</p>
議 長	<p>今日の会議の場では、ボランティア意見交換会での意見についてこれ以上話を進めることは難しいので、図書館で意見を受け止めていただければと思います。皆さんの熱心なご意見を聞かせていただき、感謝します。</p> <p>それでは、最初の議題である令和8年度取組計画案を進めるにあたり、今まで出た意見を受け止めて、必要なところは修正した上で、この取り組み計画についてご承認をいただければと思います。皆さんはいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>

議 長	<p>それでは、龍ヶ崎市供読書活動推進計画の令和 8 年度取り組み計画案について、一部修正を条件として承認したいと思います。</p>
議 長	<p>続いてもう 1 つの議題になります、「龍ヶ崎市子供読書活動推進計画第 4 次中間年度の見直し」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(中間年度見直し版作成の大まかな方針について事務局からの提案を説明)</p>
議 長	<p>ありがとうございました。 今回の会議で第 4 次計画の中間の見直しをするにあたって意見や要望を出していただいて、次回の会議で具体的な原案を審議したいと思っておりますので、皆さんいかがでしょうか。</p>
伊東委員	<p>私からですと、親子通園をしているお子さんも含めて、就学前と小学校入学後の繋がりというものを意識して計画を見直していただきたいと考えています。また、私たちのような園では、こども誰でも通園制度がはじまりますので、そういった面にも目を向けていただきたいです。 伊東委員の園ではいかがでしょうか。</p>
事務局 (清水補佐)	<p>今回の見直しの要旨としては、基本的に計画の骨格は変えずに、施策の内容について見直すという提案です。みなさんの意見も参考にしながら、そういった内容も入れられるよう検討してまいります。</p>
議 長	<p>こども家庭庁から「はじめの 100 か月の育ちビジョン」という誕生前から小学校まで切れ目なく支援するという計画が出ていて、中でも幼保小連携の施策が重要だと考えています。絵本の読み聞かせの経験が、小学校以降の読書習慣のかけはしとなりますので、就学前に絵本を通して学んだことを、小学校に入った後の計画の中にどう位置付けていくかについて、念頭に置いていただきたいです。抽象的ですが、よろしく願います。</p>
各委員	<p>それでは、「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画（第四次）中間年度の見直し」について承認したいと思います。よろしいでしょうか。 (異議なし)</p>

